

取扱説明書 使用前に必ずお読みください。(裏面もお読みください。)

要保存

このたびは、お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みいただき、本書に従ってご使用ください。誤ったご使用をされた場合、重大な事故に結びつく恐れがあります。
このヘルメットは、厚生労働省が定める労働安全衛生法第42条の規則に基づく「保護帽の規格」に適合し製造されたもので、「飛来・落下物用」の型式検定合格品として「労・検」ラベルが貼り付けられています。
この規格は、飛来物または落下物から頭部の安全を確保する最低基準を定めたもので、絶対的な安全性を保证するものではありません。
このヘルメットには、飛来物・落下物の衝撃を吸収するため頭頂部に発泡スチロール(衝撃吸収ライナー)を設置していますが、墜落時保護用としての性能は備わっていません。
さらに、本製品は防災用途のヘルメットとして収納性を求めて折りたたみ可能な構造としています。ご使用にあたっては最大限の注意を払い、常に安全にご使用ができるように、この取扱説明書に従ってご使用ください。
なお、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

警告、注意の意味と内容(安全上、大切なお知らせ)

警告 : 守らないと保護帽の性能を損ない、生命または頭部に重大な傷害を及ぼすことを意味します。

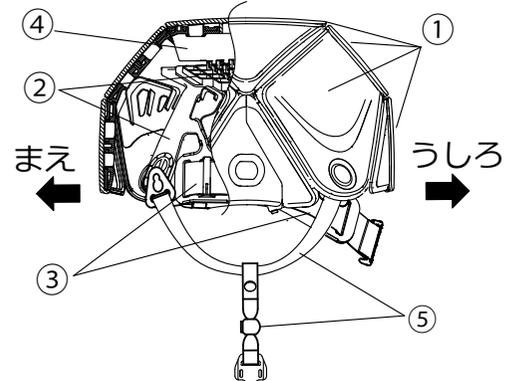
- 「飛来・落下物用」を示す「労・検」ラベルが貼り付けてあることを確かめてください。
- このヘルメットは、飛来・落下物用以外の使用区分では使用しないでください。
- このヘルメットをかぶって原動機付自転車を含むオートバイに乗車することは絶対やめてください。保護帽は乗車用安全帽とは製造、設計、性能など目的と方法が全く異なります。
- 一度でも大きな衝撃を受けたものは、外観に異常がなくても性能が低下しているため、使用せず廃棄してください。
- このヘルメットに改造あるいは加工したり、部品を取り除いたりしないでください。保護性能が損なわれます。
- ヘルメット着用では、まっすぐ深くかぶり、あごひもを正しく締めてください。誤った着用をすると事故のとき保護帽が脱げて重大な傷害を受ける可能性があります。
- ヘルメットは使用環境や時間の経過により外観に変形等の異常が認められなくても、性能の低下が考えられます。使用期間内に交換してください。(購入後3年以内に交換してください。防災用途の場合は6年以内に交換してください。)
(注意 : 防災用とは、災害時などの非常時のみに使用するもので、労働安全衛生規則に関わる場所で使用するものではありません。)

注意 : 守らないと保護帽の性能や機能に影響を与え頭部に傷害を及ぼすことを意味します。

- ヘッドバンドは頭の大きさに合わせて調節して確実に固定してください。
- 緊急時、直ちに使用できるように、事前にヘッドバンドのサイズ調整をしておいてください。
- ガソリン・シンナー・ベンジン等の有機溶剤は帽体を劣化させるため、ヘルメットの清掃には使用しないでください。
- 夏季の自動車内や暖房器の近く等の50℃を超える場所や直射日光の当たる場所に置くと、熱や紫外線により材質が変色したり、変質や変形を起こし、性能が低下します。
- 組み立てや折りたたむ際、帽体の隙間に手や指等を挟まないよう十分注意してください。
- 防災用途として使用する場合、日常的に使用する機会がないため、定期的に点検をしてください。
- 本製品は、収納性を考慮して設計した折りたたみ構造の防災用ヘルメットです。産業用途では通常(折りたたみ構造でない)の産業用ヘルメットをご使用ください。

1. ヘルメットの構造と各部の役割

本製品は、帽体、着装体、あごひも、衝撃吸収ライナー等の部品により構成されています。これらの部品の一部でも性能が低下したり、または欠けたりしますと危険を防止または軽減することができなくなります。



| 番号 | 名称 | 役割 |
|----|-----------|----------------------------------|
| ① | 帽体 | 頭部を覆う、硬いかく(殻)体 |
| ② | 着装体 | ヘルメットを頭部に保持し、頭への当りを良くして衝撃を緩和する部品 |
| ③ | ヘッドバンド | |
| ④ | 衝撃吸収ライナー | 衝撃を吸収緩和するための部品(発泡スチロール製) |
| ⑤ | あごひも(耳ひも) | ヘルメットが脱落するのを防止するための部品 |

2. 使用区分と機能

本製品は、飛来・落下物用として帽体の内側に厚生労働省の「型式検定合格品」を示す「労・検」ラベルが貼られています。「飛来・落下物用」は物体の飛来または落下による危険を防止または軽減するためのものです。

3. 使用前点検

- ① ご使用目的が、防災用途であることをご確認ください。
- ② 「ヘルメット点検・20のチェックポイント」によって点検し、少しでも異常が認められる場合は使用しないでください。
- ③ 構成している部品に異常が認められた場合は使用せず、直ちに新しいものと交換してください。

4. 着用方法

- ① 帽体を「帽体の組み立て方」(裏面参照)を参考に完全に組み立ててください。
- ② 帽体の「まえ」「うしろ」を確認していただき、まっすぐに深くかぶってください。
- ③ ヘッドバンドは頭の大きさに合わせて調節して確実に頭に固定してください。(裏面図参照)
- ④ あごひもは緩みがないようにあごの下でしっかり締めてください。(裏面図参照)
- ⑤ あごひもに付いているホックで着脱をしないでください。着脱を繰り返すとホックの保持力が低下して本来の保持性能が低下します。

5. 使用に当たっての注意事項

- ① 本製品は、収納性を考慮して設計した、折りたたみ構造の防災用ヘルメットです。産業用途では通常(折りたたみ構造でない)の産業用ヘルメットをご使用ください。
- ② 本製品は、帽体を完全に組み立てた状態で頭部にかぶることで、本来の性能を発揮するように設計されています。組み立てが不完全な状態での使用や、頭部にかぶる以外の使用は重大な事故につながりますので絶対にやめてください。
- ③ 使用中は、あごひもを緩めたり、はずしたりしないでください。
- ④ 帽体にものを入れたり、腰かけたりしないでください。
- ⑤ ご自身でヘルメットに塗装したりしないでください。
- ⑥ ラベル、ステッカー、テープ等を貼付するときはアクリル系の接着剤を使用してください。
- ⑦ 溶接火花・薬品などによるやけどの恐れがある作業には使用しないでください。
- ⑧ 着用により皮膚にかぶれやかゆみを生じたら、直ちに使用をやめてください。
- ⑨ 使用環境温度は、-10℃～+50℃です。この温度範囲の環境で使用してください。この温度範囲以外の環境で使用すると、高温による変形をおこしたり低温による強度の低下をおこします。

6. 保守・保管

- ① 帽体の汚れは必ず中性洗剤に浸した布を固く絞って拭きとり、きれいな水で洗剤を除去したのち、布で完全に拭きとってください。
- ② 室内の直射日光の当たらない、風通しのよい場所に保管してください。(0℃～+40℃)
- ③ 本製品は、定期的(6ヶ月以内)に組み立ててに支障がないか、または各部品に劣化等が生じていないか点検してください。合成樹脂・合成繊維製ですので自然劣化や高温・多湿の環境下で劣化が進むことがあります。

7. 点検(廃棄・交換)

本製品は、帽体、着装体(衝撃吸収ライナー)の全体のバランスによって保護性能を発揮します。衝撃や傷・磨耗、薬品、紫外線、高温や低温などは保護帽の強度を低下させますので、保護性能を確保するために《ヘルメット点検・20のチェックポイント》に従って日ごから点検を実施してください。また、使用する際にも使用前に必ず点検をしてください。点検によって、少しでも異常が認められるものは使用せず、直ちに新しいものに交換してください。

8. 使用期間(耐用期間)

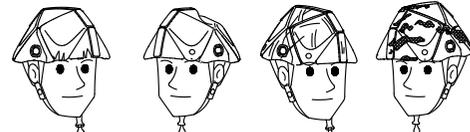
防災用途として、購入後6年以内には交換をしてください。

(注意 : 防災用とは災害時などの非常時のみに使用するもので、労働安全衛生規則に関わる場所で使用するものではありません。)

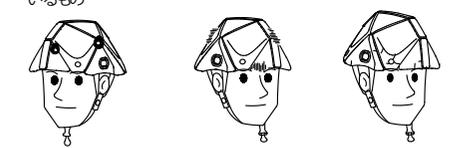
《ヘルメット点検・20のチェックポイント》(このイラストは異常な状態を分かり易くするため誇張して表現してあります。)

廃棄基準

- ① 縁に欠損又は亀裂のあるもの
- ② 衝撃の跡が認められるもの
- ③ すりずきが多いもの
- ④ 汚れが著しいもの



- ⑤ メーカーがあげた以外の穴があいているもの
- ⑥ 表面がカサカサしたり粉を吹いている
- ⑦ 装着体取付け部に亀裂があるもの



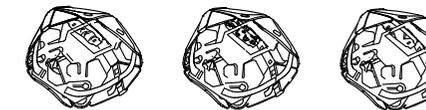
- ⑧ 著しい変色が認められるもの
- ⑨ 帽体と着装体の取付け部に破損・滅失等があるもの
- ⑩ 変形しているもの



SCB10N-1605MJ

衝撃吸収ライナー

- ① 熱、溶剤等によって変形しているもの
- ② 著しく汚れているもの
- ③ ぎず、割れが著しいもの

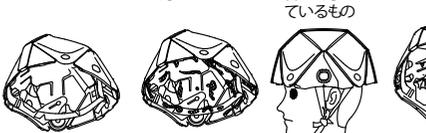


着装体・あごひも

- ④ 使用者が改造したしたもの
- ⑤ ハンモックが伸び又は著しく汚れているもの
- ⑥ 縫い目がほつれているもの



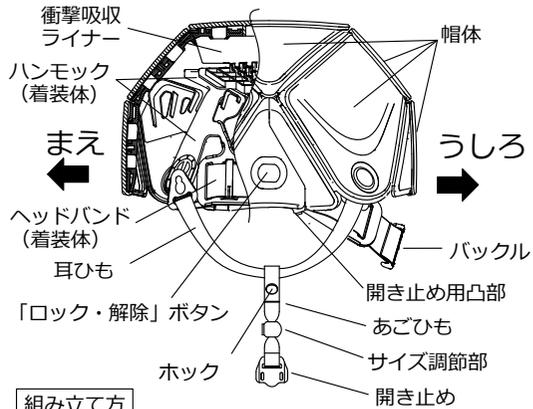
- ⑦ ヘッドバンドが損傷しているもの
- ⑧ 汗、油等によって著しく汚れているもの
- ⑨ あごひもが損傷し又は著しく汚れているもの
- ⑩ ハンモックが損傷しているもの



No.0001

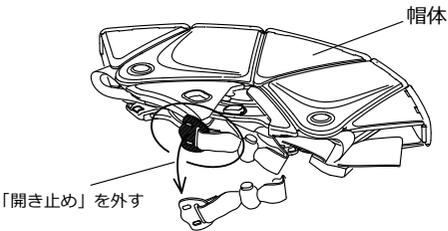
「折りたためるヘルメット」の取扱い方法

各部の詳細名称

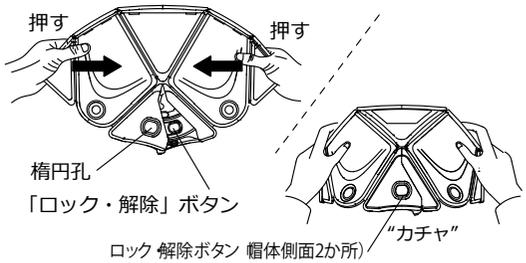


組み立て方

① 「開き止め」を帽体から外してください。

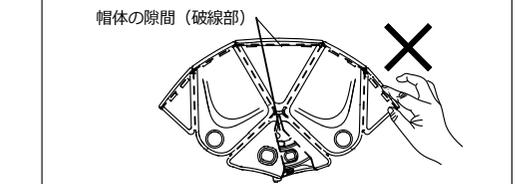


② 下図のようにヘルメットを持ち、矢印方向に押すことで帽体外側にある「ロック・解除」ボタンがはまり「カチャ」と音がします。ボタンが楕円孔から出ていることを確認してください。出ていればロックが掛かっています。これで組み立ては完了です。



⚠ 注意

組み立ての際、帽体の隙間（下図破線部）に手や指等を挟まないよう十分注意してください。



⚠ 警告

帽体内側両側面の「ロック・解除」ボタンが確実に掛かっていることを確認してください。「ロック・解除」ボタンのロックが掛っていない状態で使用すると、ヘルメットの本래の性能が発揮できません。

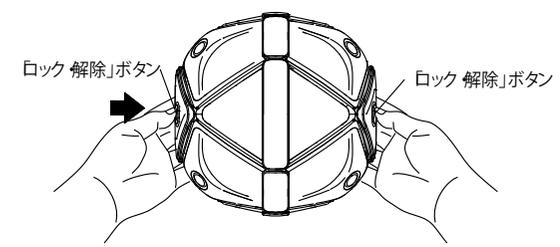
⚠ 注意

組み立ての際、下図の様に側面を持って外側に広げる動作はしないでください。側面を持って無理やり広げると部品が破損する場合があります。

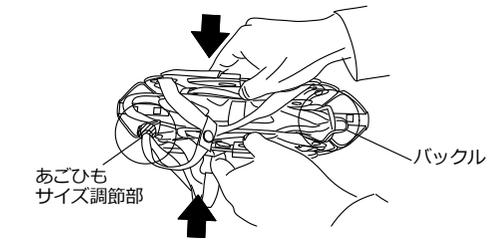


折りたたみ方

① 「ロック・解除」ボタン（2か所）を押してロックを解除します。帽体の両側面にある「ロック・解除」ボタン（下図参照）を同時に矢印の方向に押してください。



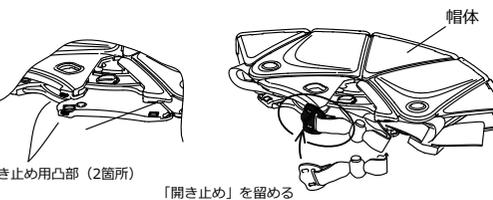
② ボタンを押した後、下図のように、矢印の方向に押し閉じてください。あごひもサイズ調節部が帽体の中のハンモックに挟まらないように注意しながら収納してください。



⚠ 注意

折りたたむ際、帽体の隙間に手や指等を挟まないよう十分注意してください。（注意箇所は組み立ての際と同じ）

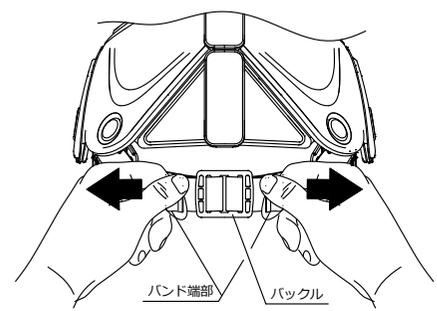
③ 開き止めを、帽体ふちの「開き止め用凸部」に留めて完了です。



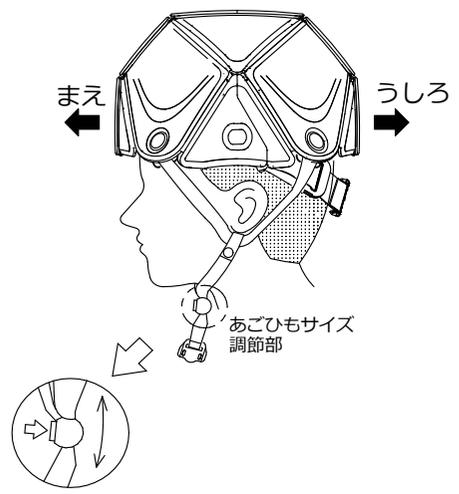
ヘッドバンドの調整方法

● サイズの調節方法
ヘルメットを正しく被った状態で、後頭側にあるバックルの両端から出ているバンドの端を両手で掴み矢印の方向にバンドを引っ張って頭のサイズに調節してください。

ヘッドバンドのサイズ調節は、緊急時に備えて、あらかじめ調節をしておいてください。



● あごひもの調節方法
あごひもは、下図のあごひもサイズ調節部で調節して、きちんと締めてください。



● あごひもサイズ調節部の凸部を矢印の方向へ押し、上下に移動させて長さを調節してください。

仕様

- 【品名】 折りたためるヘルメット
- 【品番】 MJ-FH2
- 【用途】 防災用 折りたたみヘルメット（飛来・落下物用）
- 【材質】 帽体：PP樹脂（中央カバー：ABS樹脂）
ヘッドバンドテープ：合成繊維
ハンモック：PE樹脂
あごひも：合成繊維
バックル：POM樹脂
衝撃吸収ライナー：発泡スチロール
- 【ヘッドバンド（頭周）サイズ調節範囲】 47～62cm
- 【重量】 約420g

⚠ 注意

防災用途に使用する場合、日常的に使用する機会がないため、定期的に点検してください。

- 6ヶ月程度の間隔で組み立て、外観等を点検してください。
- 本製品は合成樹脂、合成繊維製なので自然劣化します。高温、多湿の環境下では劣化が進む場合があります。
- 緊急時、直ちにヘルメットを組み立てできるように、点検の際に組み立て方法の確認も行ってください。

⚠ 注意

緊急時、直ちに使用できるように、常に保管場所を把握しておいてください。組み立てる際や折りたたむ際には、帽体のすき間に指を挟まないよう十分注意してください。

販売元 株式会社 良品計画
お客様相談室 ☎ 0120-14-6404
〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3

製造元 ミドリ電機製造株式会社